

平成29年11月6日

関係各位

(公社)広島ビルメンテナンス協会

会長 杉川 聡

(公印省略)

在宅医療に伴う針刺し事故について

当協会では、皆様方から毎月、労災発生状況の報告を求め、翌月には、取りまとめた発生分をフィードバックすることで、ゼロ災害の達成に向けて努力しております。

本年8月、ホテルの客室トイレで、作業員がゴミ回収の際にインシュリン投薬用針と気付かず触り右手中指を針で刺した事故が起きました。

在宅医療の推進により、患者が家庭や外出先でインスリンを投与することが多くなっており、使用された注射針がホテルやショッピングセンターなどで不適切に捨てられるケースがあります。

こういったことを想定しながら、従事者の健康、安全管理に努めて下さい。

なお、全国ビルメンテナンス協会では、平成23年に「医療機関以外における在宅医療廃棄物の廃棄実態調査結果報告書」及び「使用済みインスリン注射針の注意喚起」のチラシを発表していますので、ご参考にして下さい。

この資料は、当協会ホームページに掲載しています。